

博学連携事業 2019 年度実績報告

協定

- 2019年4月1日 大阪市立大学と地方独立行政法人 大阪市博物館機構が包括連携協定を締結
(※新法人設立並びに法人組織改編による)
- 大阪市立大学と一般財団法人 大阪市文化財協会が包括連携協定を締結
(※新法人設立並びに法人組織改編による)

講演会 ■大阪市立大学と地方独立行政法人 大阪市博物館機構との包括連携協定締結記念 全国同時七夕講演会 2019 「ブラックホール…見えた?!」

実施日時：2019年7月27日(土) 18:00~20:00
場 所：大阪市立科学館 プラネタリウムホール
参加者数：286名(うち、一般：160名、市大生・高校生以下：126名)
【プログラム】

| |
|--|
| 開会の挨拶 (大阪市立科学館 館長 齋藤 吉彦) |
| プラネタリウム投影 |
| 記念講演「ブラックホール…見えた?!」 (大阪市立大学大学院理学研究科 教授 石原 秀樹) |
| 質問回答 |
| 閉会の挨拶 (大阪市立大学地域連携センター-所長 宮野 道雄) |



会場の様子

博学連携講座「中世の渡辺と渡辺党－淀川をめぐる武士団と信仰－」(共催：一般財団法人大阪市文化財協会、地方独立行政法人大阪市博物館機構)

開催日：2019年11月5・12・19・26日(全4回 各回90分)
場 所：市大文化交流センターホール
参加者数：のべ440名
【内容】

| | テーマ | 講師 |
|-----|---|---------------------------|
| 第1回 | 水の中世武士団渡辺党 | 花園大学 文学部 専任講師 生駒 孝臣 |
| 第2回 | 大川の変遷の中から中世の地形を読む | 大阪市文化財協会 学芸員 趙 哲済 |
| 第3回 | 中世の天満と天神社 | 大阪歴史博物館 学芸員 大澤 研一 |
| 第4回 | 中世「なにわ」はどんな場所だったか－難波宮廃絶から 蓮如・大坂御坊建立のあいだ－ | 大阪市立大学大学院文学研究科 教授 仁木 宏 |

シンポジウム ■ 大阪市立大学・大阪市博物館機構・大阪市文化財協会 包括連携協定企画 博学連携シンポジウム「河内鑄物師の実像に迫る」

実施日時：2019年11月30日（土）10：00～16：30

場 所：大阪歴史博物館4階講堂

参加者数：137名

【プログラム】

| |
|--|
| 開会あいさつ (大阪市立大学地域連携センター所長 宮野 道雄) |
| 講演「河内鑄物師を考える」 (大阪市立大学大学院文学研究科 教授 岸本 直文) |
| 講演「河内鑄物師全国展開の虚実」 (高知大学名誉教授 市村 高男) |
| 講演「丹南鑄物師遺跡の調査－大阪府の調査を中心に－」 (大阪府教育庁文化財保護課 小浜 成) |
| 講演「大阪市内の遺構・遺物からみた河内鑄物師とその系譜」 (大阪市文化財協会 小田木 富慈美) |
| 講演「中近世都市・堺の鑄物生産と金属精錬」 (堺市文化観光局文化財課 嶋谷 和彦) |
| 講演「河内の鑄鉄製銅釜と青銅製梵鐘」 (鑄造遺跡研究会／元京都橘大学 教授 五十川 伸矢) |
| ディスカッション |



ディスカッションの様子1



ディスカッションの様子2

ミュージアム連続講座 2019「世界遺産と文化財」

開催日：2019年12月5・12・19日（全3回 各回90分）

場 所：大阪市立難波市民学習センター 講堂

参加者数：のべ142名

【内容】

| | テーマ | 講師 |
|-----|-----------------------------------|-----------------------------|
| 第1回 | 国宝の陶磁器 －油滴天目と飛青磁花生を中心に | 大阪市立東洋陶磁美術館 学芸員 小林 仁 |
| | 訪れる神と人びと | 大阪歴史博物館 学芸員 澤井 浩一 |
| 第2回 | 古市・百舌鳥古墳群の歴史的意義 | 大阪市立大学大学院文学研究科 教授 岸本 直文 |
| | 倭五王を支えた人びと －平野区長原遺跡から－ | 一般財団法人大阪市文化財協会 学芸員 清水 和明 |
| 第3回 | 世界遺産にみる英国の先史時代 | 大阪市博物館機構 学芸員 岡村 勝行 |
| | 旅する芸術家と世界遺産 －大阪中之島美術館コレクションより－ | 大阪中之島美術館準備室 学芸員 清原 佐知子 |

共同研究

■ 戦略的研究 基盤研究（2019 年度採択）

豊臣期大坂城本丸の復元－文理融合・博学連携プロジェクト－

（研究代表者：文学研究科 教授 仁木 宏）

大阪城のサウンディング調査・微動アレー調査

（6月11日／9月1日 現地調査、6月30日 大阪歴史学会大会にて報告）

学生支援

■ 学芸員養成課程での学芸員の講義

2019 年度前期：博物館資料保存論

2019 年度後期：博物館経営論・博物館展示論

■ キャンパスメンバーズ制度

学部生・大学院生・教員が市内博物館等 7 施設の常設展示を無料で利用できる制度。